



かじか鳴く、里山の一軒宿

鎌倉温泉

お散歩マップ

鎌倉温泉の伝説

1062年「前九年の役」で重傷を負った鎌倉権五郎景政という武将が、夢の中に現れた羽山（出羽三山）の女神のお告げにより、発見された温泉で、たちまち傷が全快したという伝説によりこの地を鎌倉沢と呼び、傷に効く名湯として近郷近在に住む人々の湯治場として現在に至っている。

畑

当館の食材は、周辺の畑に栽培している野菜が中心。最近ではカモシカやイノシシの被害を受けている。

滝

自然の水流の力で形成された大小20からなるお釜と滝。

お不動さん

雨上がりに現れる滝。その昔、祈禱師が住んでいて、当時、御本尊として祭っていた不動明王の像があります。

炭焼き

当館で使用する火鉢の炭を焼く自家製の炭窯。

伝説の穴

鎌倉権五郎景政が傷を癒すのに住んでいたと伝えられている横穴。現在は岩が崩れ半分程度の奥行きに。

ホタル

澄んだ沢水に住むゲンジホタル。夏には幻想的な光が舞う。その他、周辺の山にはクワガタ、カブトムシ、オニヤンマなども生息。

温泉・休憩所



花

福寿草、スイセン、チューリップ、サクラ、ツツジ、アジサイ、ヤマユリ、など数えるきりが無いほど四季折々の花が咲きます。

水辺の生き物

ほとりを洗れる澄んだ川には、アブラハヤ、ヤツメウナギ、川エビ、沢ガニなどが住んでいます。

水辺の広場

春から秋にかけて散歩できます。東屋で休憩しながら耳を澄ますと色々な鳥の鳴き声や、川の音、風の感触、緑の匂いを感じることができます。

カジカガエル

清流に棲むカエル。4月中旬から8月中旬まで鹿のようなキレイな声を聞くことができます。

